

本殿正面の左右に奉納された大真槨 =10月18日、靖国神社にて

靖国神社秋祭例大祭は、十月十七日(日)の「山の日」を演じた。十月十七日の「山の日」は、

靖国神社 秋季例大祭を斎行 安倍総理が大真槨を奉納

東京・靖国神社では、十月十七日から二十日までの四日間、わたり秋季例大祭が斎行された。十八日の当日祭には、天皇陛下から勅使が差し進み、御幣奉納された。

靖国神社秋祭例大祭は、十月十七日(日)の「山の日」を演じた。十月十七日の「山の日」は、

祭典終了にあたり、安倍総理が挨拶し、まず一部週刊誌が報じた小堀宮司の発言について説明し、



斎藤十朗氏

安倍総理は平成三十年秋の叙勲及び褒章授章者を発表された。褒章ある受章に輝いた本会関係者は次の方々である。



山口建史氏

靖国神社宮司に 山口建史氏が就任

東京・千代田区の靖国神社では、小堀邦夫宮司の退任に伴い、十一月一日付で山口建史氏が第三代理宮司に就任された。

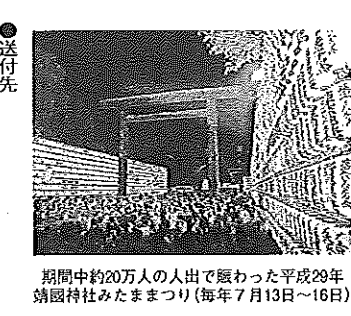
超党派の議員連盟「みんなの参拜 靖国神社秋祭例大祭」に、超党派国會議員16人が参拜した。

山口建史氏(やまぐちたけし)は、昭和二十三年六月二十日生まれ、昭和二十七年三月皇學館大学文学部国史学科卒業、

声なき声

深秋の候、まさに夜寒の身に、しむ季節となってきた。ここに、

英霊の御心を 次の世代に伝えましょう



申請申込み方法 維持会費(一口五〇〇円、送料別途)を添えて

平成三十一年版 靖国カレンダーを 家庭にかけましょう

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

日本遺族通信 logo and subscription information: 平成30年11月15日 第815号

尾社会長を先頭に本殿へと向かう「みんなの参拜する国會議員の会」=10月18日、靖国神社にて

極みだとおっしゃった。とを願っている」と述べた。 ※衆・参議院の参拜議員名は「面に掲載

「みんなの参拜する国會議員の会」=10月18日、靖国神社にて

「みんなの参拜する国會議員の会」=10月18日、靖国神社にて

「みんなの参拜する国會議員の会」=10月18日、靖国神社にて

秋季慰霊祭を挙行

寛仁親王妃信子殿下ご臨席

千鳥ヶ淵戦没者墓苑

東京・千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で十月十八日、寛仁親王妃信子殿下御臨席のもと、秋季慰霊祭がしめやかに執り行われた。慰霊祭には全国から参集した遺族、同墓苑奉仕会の会員、統合療養会議議長をはじめ陸・海・空各幕僚長、各自衛隊代表部隊、在日駐在武官などが参拝し、戦没者の冥福を祈った。

慰霊祭は、内閣総理大臣 二春任会会長式辞、昭和 臣代理、日本遺族会宇田 天皇御製奉誦、今上陛下 川親副会長ら八百人が 御製奉誦、童謡唱歌奉唱 参列し午後一時、寛仁親 王妃信子殿下のご臨席で 王冠信子殿下のご臨席で 行われた。

開式の辞に続いて、航 空自衛隊東京中央音楽隊 の奏樂により国歌斉唱を 行い、献茶の儀、津島雄 二、寛仁親王妃信子殿下 と、寛仁親王妃信子殿下 唱された。

内閣総理大臣による追 悼の辞(代理代読)のあ と、寛仁親王妃信子殿下 がご英霊に対し深々と御 拝礼、妃殿下に合わせて 参列者一同が拝礼し、黙 持を捧げた。寛仁親王妃 信子殿下が御退場の後、 のうちに式典は終了した。



ご臨席される寛仁親王妃信子殿下=10月18日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

日本遺族会への賛助金のお願い
日本遺族会では、戦没者の英霊追悼や遺族の慰霊友好親善事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を要しております。本会の活動の進展にご理解を賜り、賛助金をお願いいたします。ご賛助の申し込みは、下記のとおりです。

●郵便振替 口座番号：001302604299
●口座振替：〒100-8302 東京都千代田区千代田1-1-1 ニッセイビル



献花に向かう宇田川親副会長=10月18日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

靖国神社参拝 国会議員
平成三十年十月十八日「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」で参拝した百四十六人(代理人含む)の衆・参議員は次のとおり、(党派別、敬称略) 議員本人参拝

【自民党】秋葉賢也、

池田道孝、伊東良孝、井上信治、井林辰彦、徳島征士郎、大園敬孝、大西英男、岡下昌平、奥野信亮、梶山弘志、加藤勝信、金子泰之、岸信夫、木原小島敏文、後藤田正純、左藤章、新谷正義、杉田水脈、高木啓、高島修一、高橋ひなこ、田畑裕明、田村憲久、長尾敏、野村哲郎、馬場成志、堀

女性部幹事会を開催
今後の活動内容等を審議
日本遺族会では、十月三十日に女性部幹事会を開催した。会議では、はじめに支部女性部長の交代について報告された。次に、十一月二十四日開催の女性部・青年部合同研修会での目的やテーマ等、女性部研修会内容や運営分担等について、それぞれ審議された。なお、平成三十一年度は女性部が十六五周年を迎えることから、今後の女性部の活動方針・活動内

戦後海外から帰還した部隊や個人が持ち帰った遺骨及び海外において帰還しなかった一般人も含むため、昭和三十四年日本国政府により建立された。納骨堂には、昭和二十八年以降政府派遣団が収容した遺骨のほか、

戦後海外から帰還した部隊や個人が持ち帰った遺骨及び海外において帰還しなかった一般人も含むため、遺族に引き渡すことのできなかつた遺骨(現在三千六万九千六百十六柱が納められている。)

【自民党】赤池誠章、有村淳子、石井正弘、磯崎仁彦、岩井茂樹、宇都隆正、江島徳衛、野村隆史、小野田紀美、拓殖芳文、豊田俊郎、中泉松司、中西賢、長瀬誠、田勝年、神山佐市、河井

【無所属】 柿沢未途、重徳恒彦

【自民党】 青木一彦、井原功、大塚敏志、金子原昭、木村義雄、こやり隆史、佐藤隆、佐藤信秋、佐藤正久、関口昌一、瀧沢栄、中島弘文、中西拓介、二之湯武史、橋本聖子、福岡寛隆、元菜太一郎、山崎正昭、山本順三、吉川ゆづみ

【自民党】 片山虎之助

【無所属】 アントニオ猪木

記念塔の移設を計画
佐賀県では、2023年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、

佐賀県では、2023年に開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、

成子年度事務局長・職員研修会開催
活発な意見が交わされる
十月十一日、十二日の二日間にわたり愛知県名古屋市の「ホテルメルパルク名古屋」で、全国の事務局長・事務局職員、本会から宇田川親副会長、呼上和男事務理事ら五十四人が参加して、

【無所属】 柿沢未途、重徳恒彦

【自民党】 青木一彦、井原功、大塚敏志、金子原昭、木村義雄、こやり隆史、佐藤隆、佐藤信秋、佐藤正久、関口昌一、瀧沢栄、中島弘文、中西拓介、二之湯武史、橋本聖子、福岡寛隆、元菜太一郎、山崎正昭、山本順三、吉川ゆづみ

【自民党】 片山虎之助

【無所属】 アントニオ猪木

場合は、十二月十日までに左記連絡先まで問い合わせ願いたい。

【問合せ先】佐賀県スポーツ振興会運動場等整備推進室 ☎0952-12517482

現在の記念塔

あり、このことから、会の要である支部事務局の皆さんのお力をかり、今後の遺族会のあり方等を見出していかなければならない。皆様方より一層のご協力をお願いしたい」と挨拶した。

研修会は、山田周二(宮城県)事務局長協議会幹事長が議長となり進められ、英霊顕彰運動、処遇改善運動、青年部の組織の結成状況調査結果等に

【無所属】 アントニオ猪木

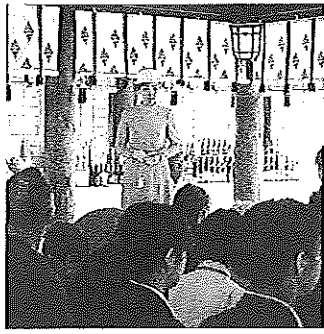


事務局長・職員研修会で挨拶する宇田川親副会長=10月11日、ホテルメルパルク名古屋で

好問友訪 慰親 靈善 慰親

亡き父たちを弔う 三地域を相次いで実施

日本遺族会は、厚生労働省の補助事業である「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」のボルネオ・マレー半島、マリアナ諸島、トラック・パラオ諸島地域を実施した。三地域に総勢三千九人の遺児が参加した。また、靖国神社秋季例大祭中の十月二十日にはトラック・パラオ諸島訪問団参拝に際し三笠宮瑤子女王殿下ご参拝後ご会釈を賜った。



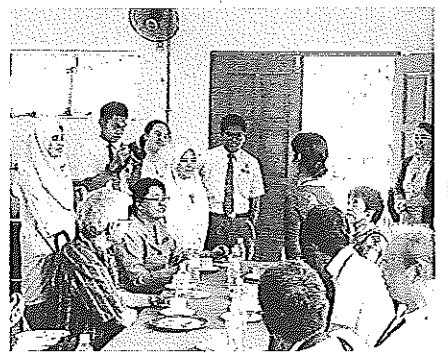
に際し参拝に臨む訪問団のメンバーら。トラック・パラオ諸島訪問団参拝に際し三笠宮瑤子女王殿下ご参拝後ご会釈を賜った。

ボルネオ・マレー半島 安齋博夫参議員(福岡県遺族会会長)を団長とする北ボルネオ・マレー半島慰霊友好親善訪問団は、九月二十六日全

国は、九月二十六日全島の遺児代表六人が東京の靖国会館で結団式を行い翌二十七日、彼の地で慰霊のためマレーシアの首都クアラルンプールに

第一歩を押し、翌日ボルネオ島に渡り、それぞれ緑の地へ向かった。ボルネオ島では、コタキナバルの南百三十五キロのボーフォート西方海岸付近に位置するカルカ村を訪れ、村の古老に当時緑のある場所にある慰霊祭を行いたい旨を伝え、慰霊祭の場所を指定された。また、ボルネオ島北西端の海域で船舶と運命を共にした亡き父に、コタブルのランバヤン海岸で慰霊祭を行い家族の近況を報告。ブルネイ・ダラウサラム国では、ブルネイ河畔で慰霊祭を行い亡き父の冥福を祈った。

友好親善事業の一環では、コタキナバルの障害者施設に車椅子を、高校では学用品等を寄贈し、日本語を学ぶ生徒たちと交流会や情報を行った。十月四日、ラバン島守備隊玉砕の舞台となったラバン飛行場で慰霊祭を行う。時折し爆音をたて戦闘機が上空を舞い、亡き父に語り掛ける声がかき消されながら、共に



日本語を学ぶサバの中、高校生徒らと談笑する団員ら。=10月1日、コタキナバルで



「中部太平洋戦没者の碑」前で全戦没者追悼式を挙行。=10月15日、サイパンで

七都府県の遺児代表十二人が東京・千代田会館に集合し結団式を行い、靖国神社で旅の安全を祈願し昇壇参拝を行った。靖国神社では秋季例大祭が実施されており、訪問団は参拝に際し、三笠宮瑤子女王殿下ご参拝後、ご会釈を賜った。翌日グアムで一泊し、二十二日ミクロネシアのチューク(春島)に到着。午後、州政府を参拝し、州政府で慰霊祭を行い、亡き父の冥福を祈った。

田原政信本会理事を総括団長とするマリアナ諸島慰霊友好親善訪問団は、十月十日、親善訪問団一行はサイパン島のサイパン神社、地獄谷、タツポイ山、テニアン島のカロリナス、タガハウスパークを巡りそれぞれ慰霊祭を執り行い、亡き父に積年の思いを語りかけ、共に散華された英霊の冥福を祈った。

十五日午前には、サイパン島の北マリアナ公立病院を訪問し、車椅子等を寄贈現地の方々とも友好関係を築いた。同日午後、サイパン島マツビの「中部太平洋戦没者の碑」前において、在サイパン領事事務所の



日本酒等を手向け亡き父の冥福を祈る団員ら。=10月23日、トラック環礁内で

慰霊友好親善事業 参加者募集

募集要項は次のとおり 時期及び地域 実施 概要参照

参加費 10万円 ※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所までの交通費はご自身の手配となる。また、移動に際し国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡船手続手

費用等は個人負担となる。参加資格 戦没者の遺児。平成二十九年度参加者を除き、複数回の応募が出来る。申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局へ。参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要するの

り寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば各遺族会にご相談し条件を満たしたうえで提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。また、巡洋地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合があります。予めご承知願いたい。参加者が高齢化を考慮し、今年度より看護師が同行する。

実施概要

Table with 4 columns: 実施地域, 実施時期, 募集人員, 申込締切. Includes entries for Philippines and China.

Table with 4 columns: 実施地域, 実施時期, 募集人員, 申込締切. Includes entries for West New Guinea, East New Guinea, and Myanmar.

本会への 賛助金のお礼

本紙(二面)でもお願している本会の賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に對し、お礼申し上げます。なお、大要添付欄にはごさいますが都道府県名については、送金方法によ

り居住地域が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。賛同名(敬称略) カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等。 辻本太蔵、内田利彦、松本泰郎、伊藤信吾、岡田徹也、西下俊明、江口

安行、佐藤鮎子、井上征子、成岡興八、三木敏明、大森恭子、遠藤やす子、林功治、宮崎信子、西沢正史、多川明廣、下田輝行、安原智江、中井百合子、井上光、菅原康子、松本文子、川原田穂子、石田義久、篠崎和子、岡本三子、谷口進、浅山善子、楢原龍子、塚谷博昭、桑原節子、杉本英幸、佐藤隆、金井久子、イト

本会事業参加者の皆様へ 本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報(個人情報保護法)の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されたい。本会にお問い合わせください。

